

## 秋田県マスコット『スギッチ』の今後の取り扱いについて

平成28年12月9日

広報広聴課

スギッチは、平成16年にデビューし、平成19年の秋田わか杉国体・秋田わか杉大会のマスコットとして大活躍した後、県のマスコットとして県のPRや県政の広報、県民の元気を応援する活動を続けてきており、県内外問わず人気が高く、また、広く親しまれる存在となっている。

県では、平成19年11月30日、県マスコットへの移行に際し、権利関係を明確にするため原著作者と覚書（期間10年間）を交わしており、来年11月には、その期間が満了することから、引き続き原著作者と協調してスギッチを利用するとの基本スタンスに立って覚書更新の協議を行ってきたが、原著作者から「覚書満了をもってスギッチを引退させたい」との強い意向が示されたところである。

県として検討した結果、スギッチの長年にわたる活躍と原著作者のこれまでの貢献に敬意を表しつつ、原著作者からの提案を受け入れることとしたものである。

### 1 基本的な考え方

- 原著作者からの提案を受け、覚書満了日（平成29年11月29日）をもってスギッチを引退させる。
- スギッチ引退による影響を最小限にとどめる。

### 2 引退に伴う具体的な事務処理

- 業界団体、市町村、県関係機関のほか、これまでの利用申請者に対し、スギッチの今後の取り扱いについて文書で通知する。
- デザインや着ぐるみの利用は、覚書満了日をもって全て終了する。
- 「スギッチ」の抜けた穴は、「んだッチ」を幅広く活用することによりカバーする。